

令和4年度 第10回春日区地域協議会 次 第

日時：令和5年1月19日(木) 午後6時30分から

会場：上越市市民プラザ 第2会議室

全体会 1時間

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 協議事項

- ・ 地域活性化の方向性について

【20分】

(2) 自主的審議事項

- | | | |
|---|-------------------------------|------------|
| { | ・ 春日山城跡の観光振興策について | (観光分科会) |
| | ・ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について | (安全・安心分科会) |
| | ・ あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について | (福祉分科会) |

- 1) 町内会長連絡協議会の協議の状況について

【15分】

- 2) 今後の審議について

【15分】

(3) その他

4 そ の 他

(1) 次回開催日の確認

【5分】

- 日時 令和4年 令和5年 月 日(火) 午後6時30分 から

※ 候補日：2月21日(火) or 日()

- 会場 上越市市民プラザを予定

- 内容 地域活性化の方向性、自主的審議事項

※ 閉会后、分科会を開催

(2) その他

5 閉 会

各地域協議会による「地域活性化の方向性」の作成について（お願い）

1 「地域活性化の方向性」の作成目的

地域協議会による地域の活力向上に向けた議論を進めるに当たり、委員間の認識の共有はもとより、地域協議会と市の認識の共有を図るとともに、市の取組の企画の参考としたいことから、地域において特に重視したいこと、大切にしたいことを、各地域協議会において「地域活性化の方向性」として作成するもの

- ◎用途 (1)自主的審議、元気事業、意見書、地域への働きかけの取組における、各地域協議会及び総合事務所、まちづくりセンターの共通認識
(2)市の取組の企画の参考とする考え方
- ◎作成主体 各地域協議会

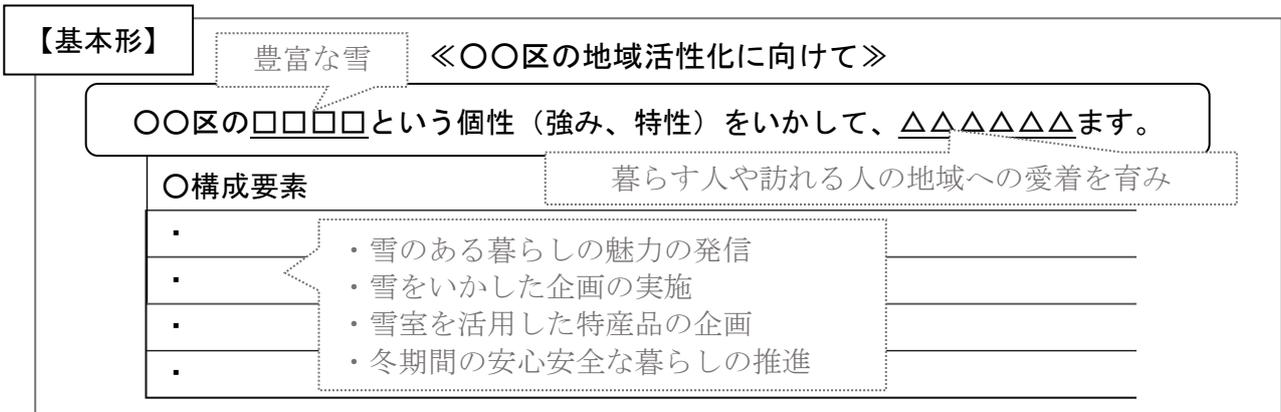
2 「地域活性化の方向性」の作成の着手時期

各地域協議会において、令和 4 年度に地域活性化の方向性の作成を始めるようお願いします。

3 「地域活性化の方向性」の内容

- ・幅広い分野（地域資源・産業・観光・農業・自然・風土等）の中から、各区の個性や特性をいかすことで、地域の活性化につなげるもの。
- ・地域の課題解消や現在の状態をさらに良くすることで、地域の活性化につながるもの。
- ・方向性の構成要素は、おおむね 1～5 つ程度で作成願います。

※全区で作成し、市民からも見ていただくため、一定の分かりやすさを必要とすることから、構成、書きぶりについて、下記の基本形に沿って作成願います。



4 「地域活性化の方向性」の作成後の取扱い

- (1) 各地域協議会の自主的審議のテーマの選定、元気事業や意見書の内容等を制限するものとはしません。
- (2) 他の団体等が作成した既存の地域の計画等（まちづくり計画、農業振興に関する計画等）を妨げるものとはしません。※協力して取り組むことで互いが良い方向に進める事項については、積極的な連携を考えていくことが想定されます。
- (3) 地域協議会による作成とするため、市全体の方針や考え方と異なる方向性（構成要素含む）の作成も可能ですが、そのような内容とする場合は、市の一体性の確保や公益性との間で整合を図ることができないことから、その方向性に基づく取組を市が行うことは困難です。

5 「地域活性化の方向性」の作成手順 ※令和 4 年度に次の①②を開始

- ①各事務局から地域協議会へ作成を依頼
- ②各地域協議会で作成（例：2～4 回（アイデア出し 1～2 回、話し合い 1～2 回、まとめ 1 回など）。会議の後半の時間などを使って）
- ③完成

名立区における「地域活性化の方向性」

《名立区の地域活性化に向けて》

名立区の豊かな自然と歴史文化を活かし、次代を担う人を育て、地域で支え合う誰もが安心して暮らせるまちを目指していきます。

○構成要素

- | |
|-------------------------------|
| ・ 地域固有の資源（山・川・海 ほか）を活用した地域の振興 |
| ・ 歴史・文化の継承、平和を願う活動の継続・発展 |
| ・ 次代の名立区を担う人材の育成 |
| ・ 若い世代も一緒になったまちづくりの取組 |
| ・ いつまでも安心して暮らすことのできる福祉の充実 |
| ・ 地域全体での支え合いの推進 |

牧区における「地域活性化の方向性」

《牧区の地域活性化に向けて》

牧区の豊かな自然がもたらす多様な資源をいかして、
活力と魅力あふれる牧づくりを目指します。

○構成要素

・ おいしい水の恵みのPR（米、農産物、どぶろく 他）
・ 豊富にある山の食材の活用（ウド、ぜんまい、ヨモギ 他）
・ 樹木を活用した特産品の企画（メープルシロップ 他）
・ 四季折々に合わせたイベントの開催（灯の回廊、山里コンサート 他）
・ 子どもから高齢者までが生きがいを持って暮らすことの推進
・ 大自然の中の宿泊施設、公共施設の利用促進 （花の植栽、深山荘、歴史民俗資料館 他）

頸城区における「地域活性化の方向性」

《頸城区の地域活性化に向けて》

頸城区の豊かな自然や歴史・文化の資産を活かし、花と緑にあふれ、誰もが楽しく暮らせる「住みたい、訪れたいまち」を目指します。

○構成要素

① 大池・小池を活かした観光

② くびきのお宝（レールパーク、館）の活用

③ 季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備

④ 外国人の交流とファーマーズマーケット（買い物難民対策等）
の企画

⑤ 情報発信、子どもが楽しむ場の創出

板倉区における「地域活性化の方向性」

《板倉区の地域活性化に向けて》

板倉区の豊かな自然や文化、長い歴史をいかして、そこで暮らす人が誇りや愛着をもち、訪れる人が楽しめる地域づくりを目指します。

○構成要素

・米や蕎麦などの農作物の美味しさや魅力の発信

・豊かな自然環境や歴史文化をいかした企画

・美しい景観や里山風景を守る

・子どもたちに板倉を愛する心を育てる

・冬期間の安心安全な暮らしの推進

・「板倉に住みたい」「板倉に住み続けたい」と思えるような、地域づくり